

一般社団法人 日本環境動物昆虫学会

第 6 回通常総会

議案第 1 号 2025 年事業報告

議案第 2 号 2025 年決算報告

議案第 3 号 その他

報告事項 1 2026 年事業計画書

報告事項 2 2026 年収支予算書

報告事項 3 その他の報告事項

2026 年 2 月 28 日（土）

10 : 30～12 : 00

会場（エル大阪）対面および Zoom によるハイブリット

目 次

議案第 1 号	2025 年事業報告	1
	1. 会員状況（2025 年 12 月 31 日現在）報告	(1)
	2. 第 37 回年次大会報告	(1～2)
	3. 理事会報告	(3～7)
	4. 各委員会報告	(8～11)
議案第 2 号	2025 年決算報告	12
議案第 3 号	その他	16
報告事項 1	2026 年事業計画書	17
報告事項 2	2026 年収支予算書	18
報告事項 3	その他の報告事項	20

議案第 1 号 2025 年事業報告

1. 会員状況（2025 年 12 月 31 日現在）報告

正会員	210 名	前年度比	－	2	(+ 1 1 － 1 4)
学生会員	27 名	前年度比	－	1	(+ 9 － 1 0)
維持会員	12 社（2 口・6 社）	前年度比		0	(+ 0 － 0)
賛助会員	12 社	前年度比		0	(+ 0 － 0)
合計	261 名（社）		－	3	

2. 第 37 回年次大会報告

会 期：2025 年 11 月 15 日（土）～11 月 16 日（日）

会 場：長崎大学 文教キャンパス 教育学部本館（長崎県長崎市文教町 1-14）

実行委員長：大庭伸也（長崎大学）

委員： 上田昇平（大阪公立大学）、川田 均（長崎大学）、菊田幸雄（大日本除虫菊(株)）、
江田慧子（関西学院大学）、中上喜史（(株)ニュージェック）、高倉耕一（滋賀県立大学）、
福岡太一（長崎大学）、大浦ひなた（長崎大学）、普天間ちおり（長崎大学）

参加者数 72 名（正会員 38 名 非会員 8 名 学生会員 26 名） 懇親会参加 52 名

一般研究発表 35 演題

市民公開シンポジウム（対面・オンライン併用）

シンポジウム 九州の里山と離島

総合司会：大庭伸也（長崎大学・実行委員長）

1. 九州におけるカブトムシの生態の多様化

小島 渉（山口大学）

2. 性的誇張形質と繁殖行動に見られる種内変異：カミキリモドキに関する事例

立田晴記（九州大学）

3. 時空間的に変動する生物群集とイモリの防衛戦略

持田浩治（長崎総合科学大学）

4. 九州の離島で繁殖するカンムリウミスズメの生態と現状について

山口典之（長崎大学）

5. 固有種がつなぐ奄美の森と川

井口恵一朗（長崎大学）

学会賞受賞講演

大庭 伸也（長崎大学）

「水生昆虫に関する一連の生態学的研究」

奨励賞受賞講演

弘岡 拓人（和歌山県果樹試験場かき・もも研究所）

「クビアカツヤカミキリの総合的防除技術の開発に関する研究」

優秀発表賞：

P-3 ※○林大智

ヤコンオサムシの捕食行動から探る 2 種ナメクジ類の防御戦略

S-7 ※○大浦ひなた（長崎大・総合生産）

日本列島のコオイムシの体サイズに与える温度の影響

収支

支出		
会場代		43,010
アルバイト昼食		10,640
茶菓子		18,719
講師・謝礼		50,000
講師・交通費		33,380
アルバイト代（2日間）		124,000
懇親会費		363,000
大会要旨 印刷		49,500
小計		692,249
収支差額		57,751
合計		750,000

収入			
参加費		人数	
正	5,000	24	120,000
	6,000	14	84,000
非	7,000	7	49,000
	8,000	1	8,000
学	2,000	19	38,000
	3,000	7	21,000
懇親会費			
正	7,000	14	98,000
	8,000	20	160,000
非	7,000	7	49,000
学	3,000	9	27,000
	4,000	2	8,000
広告			88,000
小計			750,000
収支差額			
合計			750,000

3. 理事会報告

●第1回理事会

日時：2025年1月30日（木） 11:00～12:00

場所：オンライン（Zoom）

出席理事：平林公男（会長）、板倉修司（副会長）、石渡多賀男（副会長）

安部八洲男、川田 均、広渡俊哉、引土知幸、大橋和典、
清水伸泰、高倉耕一、中上喜史、平井規央、南手良裕、中村寛志、
中嶋智子、北原正彦、石井 実、岩田隆太郎、野村美治

出席監事：上田昇平

欠席理事：大村和香子、吉田宗弘、森本正則、辻 英明、竹松葉子、築瀬佳之、神崎 務、角田 隆、
篠田一孝

欠席監事：片谷昌寛

（順不同、敬称略）

上記の通り、定足数（出席19名）に足る出席があったので審議に入った。

※理事定数28名・定足数14名

議事の概要

議 題

1. 第19期理事・監事の推薦委員会の立ち上げと候補者の選定について

平林会長が、細則第1条に基づいて出席理事中より、10名（石渡多賀男、安部八洲男、川田 均、広渡俊哉、大橋和典、清水伸泰、高倉耕一、中上喜史、南手良裕、中村寛志）の理事を推薦委員会の委員に指名した。石渡副会長のリードにより下記の29名の理事候補者が選出され、意義なく、承認された。

安部八洲男 石井 実 板倉修司 石渡多賀男 岩田隆太郎 大橋和典 大村和香子 神崎 務

川田 均 北原正彦 清水伸泰 篠田一孝 高倉耕一 竹松葉子 角田 隆 中上喜史 中村寛志 野村美治 引
土知幸 平井規央 平林公男 広渡俊哉 森本正則 築瀬佳之

吉田宗弘 上田昇平 片谷昌寛 大庭伸也 菊田幸雄

また、監事候補者として江田慧子 中嶋智子が選出され、意義なく、承認された。

これにより、上記の理事、監事の候補者を次回の総会に諮ることとした。

2. 次期会長・副会長選定について

平林会長より次期会長候補者に板倉副会長、副会長の候補者に平井理事、引土理事を候補者として選出し、意義なく、承認された。

これにより、会長、副会長の候補者を次回の総会に諮ることとした。

3. 次期各委員会および研究部会の委員長・部会長・委員選定について

1) 編集委員会

石渡副会長より、編集委員は下記の候補者が出され意義なく、承認された。

委員長 大庭伸也 幹事 高倉耕一

委員 木村悟朗 今井健介 大村和香子 樫村 敦 江田慧子 川田 均 嶋田敬介
角田 隆 上田昇平 鈴木真裕 森井清仁 中野光議 瀬古祐吾 渡辺黎也

2) 企画委員会

石渡副会長より、企画委員は下記の候補者が出され意義なく、承認された。

企画委員長 築瀬 佳之 幹事 菊田幸雄
委員 杉本直也 中嶋智子 野村美治 片谷昌寛

3) 生物保護とアセスメント手法研究部会運営委員会

石渡副会長より、生物保護とアセスメント手法研究部会運営委員会は下記の候補者が出され意義なく、承認された。

部会長/運営委員長：上田昇平

運営委員：千々岩哲 中上喜史 松野茂富 八尋克郎 加藤敦史 林 成多
今井健介 平井規央 江田慧子 渡辺黎也

4) 賞選考委員会

石渡副会長より、賞選考委員は下記の候補者が出され意義なく、承認された。

賞選考委員長：中上喜史

選考委員：吉田宗弘 大村和香子 築瀬佳之 野村美治 森田哲夫 中西康介 神崎 務

4. 2024 年事業報告及び決算（事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書）

資料 2 に基づいて 2024 年の事業報告について会員状況（事務局）、第 36 回年次大会、理事会（板倉副会長）、編集委員会（川田編集委員）、生物保護と環境アセスメント（平井部会長）、企画委員会（引土企画委員）、年次大会（中上理事）賞選考委員会（中嶋賞選考委員長）、日本昆虫科学連合（中村理事）がそれぞれ説明があり、意義なく、承認された。

また、決算について事務局より説明があり、その後、上田監事より監査結果の報告があり、意義なく、承認された。

報 告

1. 編集委員会

川田編集委員長より、オンライン投稿に伴い、投稿規定の変更がなされたと報告があった。

また、HP の SSL 化について進めていると報告があった。

2. その他

特に意見はなかった。

●第 2 回理事会

日時：2025 年 8 月 26 日（火）11:00～11:20

場 所：オンライン（Zoom）

出席理事：板倉修司（会長）平井規央（副会長）引土知幸（副会長）

安部八洲男 石井 実 石渡多賀男 岩田隆太郎 上田昇平 片谷昌寛 菊田幸雄 北原正彦 平林公男
高倉耕一 竹松葉子 角田 隆 中上喜史 中村寛志 野村美治 広渡俊哉 築瀬佳之 （20 名）

出席監事：中嶋智子 江田慧子

欠席理事：神崎 務 森本正則 大庭伸也 清水伸泰 大橋和典 大村和香子 川田 均
篠田一孝 吉田宗弘

（順不同、敬称略）

※理事定数 29 名／定足数 15 名 → 理事会成立確認済（事務局）

議事の概要

議 題

1. 2025 年 年次大会実行委員の選出

板倉会長より、第 37 回年次大会実行委員について、説明があり、意義なく、承認された。

また、実行委員は下記の通りとした。

第 36 回年次大会 実行委員

委員長 大庭伸也（長崎大学）

委員 福岡太一（長崎大学）、大浦ひなた（長崎大学）、普天間ちおり（長崎大学）、
菊田幸雄（大日本除虫菊）、江田慧子（関西学院大学）、中上喜史（ニュージェック）、
高倉耕一（滋賀県立大学）、上田昇平（大阪公立大学）、川田 均（長崎大学）

その後、大庭実行委員長の代わりに、高倉委員より、第 37 回年次大会の概要の説明があった。

2. その他

その他、意見は無かった。

報告事項

1. 総会の報告

板倉会長より、2025 年 2 月 22 日に開催された総会の報告があった。

2. 環境アセスメント動物調査手法講演会の報告

上田部会長より、2025 年 6 月 29 日に開催された第 34 回環境アセスメント動物調査手法の講演会について、講師の交通費との関係で、収支は赤字であったが、講演会自体は盛況であったと報告があった。

3. 企画委員会の報告

築瀬企画委員長より、下記の通りセミナーを企画していると報告があった。

日時：10 月 26 日(日)PM

場所：京都大学生存圏研究所の木質ホール（〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄）

テーマ『害虫防除におけるイノベーション ～課題と展望～』

4. 編集委員会の報告

大庭編集委員長の代わりに、高倉編集幹事より、

2025 年の投稿状況は原著 5 報、資料 2 報、短報 2 報の投稿があり、現状は、積極的に投稿があるが、引き続き、理事の皆さまからも、ご投稿をお願いしたいとの報告があった。

5. 会長及び副会長の職務執行状況の報告

引土副会長より、2025 年 2 月 22 日～8 月 26 日の会長及び副会長の職務執行状況の報告があった。

6. その他の報告

1) 名義使用の件

阿部理事より、「第 15 回防疫薬総合管理セミナー」について名義使用について説明があった。

2) その他

竹松理事より、HP の入会申込書の生年月日および申込日が、大正などの和暦表記になっているため、修正してはどうかと意見があり、西暦表記にすることとした。

●第 3 回理事会・評議員会合同開催

日時：2025 年 11 月 15 日（土）10:30～12:00

場所：長崎大学 文教キャンパス 教育学部本館（会場およびオンライン併用）

出席状況

理事（定数 28 名／定足数 14 名）

出席理事（会場）：板倉修司（会長）、引土知幸、平井規央（副会長）、神崎務、大村和香子、
中上喜史、石渡多賀男、篠田一孝、川田均、吉田宗弘、築瀬佳之、野村美治、平林公男、
高倉耕一、菊田幸雄、片谷昌寛、上田昇平、大庭伸也

オンライン出席：北原正彦、森本正則、大橋和典、安部八洲男

出席監事：江田慧子

欠席理事：石井実、岩田隆太郎、中村寛志、広渡俊哉、清水伸泰、角田隆、竹松葉子

欠席監事：中嶋智子

評議員（定数 58 名／定足数 29 名）

出席評議員（会場）：板倉修司（会長）、引土知幸、平井規央（副会長）、神崎務、大村和香子、中上喜史、石渡多賀男、篠田一孝、嶋田敬介、江田慧子、川田均、吉田宗弘、築瀬佳之、野村美治、平林公男、高倉耕一、菊田幸雄、片谷昌寛、上田昇平、大庭伸也、神原広平、中西康介、

木村悟郎

オンライン出席：北原正彦、森本正則、大橋和典、安部八洲男、森川瞬、加賀山翔一、夏秋優、

宮本和代

※順不同・敬称略

事務局より、定足数を満たしていることを確認し、以下の通り審議を行った。

審議事項

1. 2026 年度事業計画案について

引土副会長より提案があり、審議の結果、可決・承認された。

2. 2026 年度予算案について

事務局より提案があり、可決・承認された。

租税公課が高額ではないかとの意見があったが、顧問料等を含むためとの説明があった。

板倉会長より補足として、学会誌への広告出稿企業が増加しているため、予算を多めに計上している旨の報告があった。

3. 2026 年度年次大会について（議題 5 の細則改正と併せて審議）

板倉会長より、2026 年度年次大会を関西学院大学の江田監事にご担当いただく旨の説明があった。

ただし、現行細則では「年次大会担当理事（年次大会委員長）」とされているため、以下の通り細則改正案が提案された。

改正内容：

（現行）

第 7 条 年次大会実行委員会は理事会で互選された年次大会担当理事（年次大会委員長）と、理事会で推薦された年次大会実行委員で構成される。

（改定案）

第 7 条 年次大会実行委員会は理事会で推薦された年次大会委員長と年次大会実行委員で構成される。

本改正案について異議なく承認された。

なお、板倉会長より、細則の改正は理事会の決議により可能である旨の補足説明があった。

その後、江田次期実行委員長より挨拶があり、日程は 2026 年 11 月 14 日～15 日で調整中との報告があった。

また、この議題 3 と 5 については、手続き上は、議題 5 の細則改定の件を承認されてから、審議事項 3 の 2026 年度年次大会について審議したほうが良いのではとの意見があった。

4. 表彰規定・候補者推薦・選考要領の改訂について

中上賞選考委員長より提案があり、異議なく承認された。

主な改正点として、「自薦は認めない」旨が明記された。

5. 細則改定の件

議題 3 にて審議・承認済。

6. その他

特に意見なし。

報告事項

1. 庶務報告

事務局より、2025 年 10 月 31 日現在の会員状況について報告があった。

2. 各委員会報告

- － 編集委員会：大庭編集委員長より、2025 年 1 月～10 月の学会誌掲載状況について報告。
- － 生物保護と環境アセスメント部会：上田部会長より、6 月 29 日開催の講演会について報告。

また、次の講演会は下記の日程で予定との報告があった

日時：2026 年 7 月 26 日 13:00 - 17:00

場所：大阪公立大学 I-site なんば

- － 企画委員会：築瀬企画委員長より、10 月 26 日開催のセミナーについて報告。
- － 年次大会実行委員会：大庭実行委員長より、年次大会の概要について報告。
- － 賞選考委員会：中上選考委員長より、学会賞（大庭氏）、奨励賞（弘岡氏）の推薦について報告。

3. 日本昆虫科学連合報告

大村理事より、2025 年度の活動報告があった。

4. 2025 年度学会賞・奨励賞受賞者について

中上選考委員長より、投票の結果、学会賞に大庭氏、奨励賞に弘岡氏が決定した旨の報告があった。

5. 2026 年度中間決算について

事務局より、2025 年 10 月末現在の中間決算について報告があった。

貸借対照表について、ご記載がるとの指摘があり、修正することとした。修正事項は会の通り。

負債合計 誤 3,725,048 正 3,725,408

6. 今後の学会運営について

板倉会長より、用紙代・印刷代削減の観点から、学会賞等の投票を年次大会と同様に Google フォームで実施すると報告があった。

7. その他

板倉会長より、会員数増加を目的として、年次大会の一般研究発表を会員限定とする提案があったが、演題数減少の懸念が示され、現状維持とすることとなった。

4. 各委員会報告

●編集委員会活動報告（2025 年 1 月～12 月）

1. 学会誌発行（36 巻 1 号 2 号、36 巻 3 号 4 号）
2. 原著： 3 報
3. 短報： 3 報
4. 資料： 3 報
5. 奨励賞受賞特別寄稿文：1 報
6. シンポジウム特別寄稿文：4 報

●生物保護と環境アセスメント部会報告

主 催 （一社）日本環境動物昆虫学会

日 時 2025 年 6 月 29 日（日）13：30～16：50

場 所 大阪公立大学 I-site なんば（大阪市浪速区敷津東 2-8-1 南海なんば第一ビル 難波・大国町近く）

開催方法 現地会場ならびにオンライン（Zoom）によるハイブリット開催

企画運営 生物保護とアセスメント手法研究部会

上田昇平（部会長）、今井健介、加藤敦史、江田慧子、千々岩哲、中上喜史、林 成多、
平井規央、松野茂富、八尋克郎、渡辺黎也

【プログラム】

日本産アリヅカムシ（コウチュウ目ハネカクシ科）の生態・調査法・分類同定

野村周平（国立科学博物館）

チョウの撮影画像からの雌雄判別について

小田康弘（日本チョウ類保全協会）

紀伊半島におけるヤンバルトサカヤスデの侵入地の調査からみえてきたもの

澤畠拓夫（近畿大学農学部）

収支

支出				収入		
講師謝礼			30000	正 4名	12000	
講師交通費			62580	非 10名	40000	
会場代			11220	学 9名	18000	
合計			103800	合計	70000	
収支差額				収支差額	△33800	

●企画委員会報告

日時： 2025 年 10 月 26 日（日） 13:20～16:30

場所： 京都大学生存圏研究所 木質ホール 3F（〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄）

【企画委員】 築瀬佳之（企画委員長）、菊田幸雄（幹事）、片谷昌寛、中嶋智子、杉本直也、野村美治

【プログラム】

「害虫防除におけるイノベーション～課題と展望～2025」

- 講演 1 カシノナガキクイムシの寄主探索様式とナラ枯れ防除 山崎 理正（京都大学）
- 講演 2 ヒラタキクイムシ類の防除薬剤と内装材の変遷 奥村 敏夫（(株)オオヨドコーポレーション）
- 講演 3 マダニ RNAi 機構の解明と RNA 殺虫剤への応用 椎森 仁美（奈良先端科学技術大学院大学）
- 講演 4 トコジラミ被害の最新情報・現状 ― ブロフラニリドくん煙剤による被害宅実践駆除効果
矢口 昇（東京都豊島区池袋保健所）
- 講演 5 ボルバキアを用いた感染症媒介蚊制御の現状 佐々木 年則（国立健康危機管理研究機構）
- 総合討論

収支

支出				収入		
講師謝礼			50000	正 21名	52500	
講師交通費			62040	非 2名	7000	
会場代			0	学 1名	0	
合計			112040	合計	59500	
収支差額				収支差額	△52540	

●賞選考委員会報告

賞選考委員会

日時：2025 年 9 月 4 日（月）～9 月 11 日（月）※メール会議

賞選考委員長：中上喜史

選考委員：吉田宗弘、大村和香子、築瀬佳之、野村美治、森田哲夫、中西康介、神崎 務

議題：

1. 受賞候補者の選考について

会員から学会賞 1 名、奨励賞 1 名の候補者が推薦され、検討した結果、賞対象者としての資格があると判断され、委員会内で投票することとなった。

賞選考委員会における投票（9 月 4 日から 9 月 11 日まで）

投票の結果、候補者全てを評議員会に推薦することが決定した。

2. 規定等の変更

定款への変更等に伴い、一部不整合となっている箇所、自薦を認めないことが候補者推薦及び選考要領に明記されていないことを踏まえ、実態に合わせて修正することとし、意義なく、承認された。

●日本昆虫科学連合報告

第 15 回 日本昆虫科学連合・日本学術会議共催シンポジウム

日時：2025 年 6 月 28 日（土）13:00～

開催形式：Zoom ウェビナー

タイトル：「昆虫科学はおもしろい～国際昆虫学会議を終えて未来の昆虫科学者たちへ～」

公開シンポジウム

「分野を越え海を越える昆虫科学」

日時：2024 年 3 月 30 日（土）15:15～18:15

場所：ハイブリッド開催

オフライン（対面）：仙台国際センター 大ホール

参加費：無料

● 2025 年学会賞・奨励賞受賞者について報告

2025 年学会賞、奨励賞受賞者決定報告書

2025 年 10 月 2 日、ニュージェック大阪本社に於いて、評議員による無記名投票用紙を開票した結果、下記の通り学会賞、奨励賞の受賞者が決定致しました。

① 評議員数 58 名

② 評議員による有効期限到着数 48 通

③ 投票結果

学会賞：大庭氏	「可」	48 通	・	「否」	0 通（有効	48 通・無効	0 通）
奨励賞：弘岡氏	「可」	48 通	・	「否」	0 通（有効	48 通・無効	0 通）

2025 年 10 月 2 日

一般社団法人 日本環境動物昆虫学会

監事 江田慧子

選考委員長 中上喜史

※本審議事項は、議案第 1 号「2025 年事業報告」を承認しても良いかを問うています。

議案第 2 号 2025 年決算報告

貸借対照表

(2025年 12月31日現在)

(単位:円)

資産の部		負債および正味財産の部	
勘定科目	金 額	勘定科目	金 額
現 金	43,594	未 払 金	0
預 金		預 り 金	0
(三菱UFJ銀行)	2,453,950	前 受 金	0
(三菱UFJ銀行)	338,013	研究部会資料刊行 準備引当金	3,943,547
郵便振替貯金	266,477	借 入 金	0
未収入金	44,000	次期繰越収支差額	△ 777,403
前 払 金	20,110	(うち当期繰越 収支差額)	(205,479)
(大会費用)			
仮 払 金	0		
合 計	3,166,144	合 計	3,166,144

正味財産増減計算書(フロー式)

(自 2025年 1 月 1 日～ 至 2025年 12月 31 日)

(単位:円)

科 目	当 年	前 年	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
正会員会費収入	1,720,000	1,672,000	48,000
学生会員会費収入	57,000	72,000	△ 15,000
維持会員会費収入	900,000	900,000	0
賛助会員会費収入	360,000	360,000	0
大会会費収入	662,000	769,000	△ 107,000
大会資料掲載収入	88,000	82,500	5,500
学術集会会費収入	59,500	39,500	20,000
研究部会会費収入	70,000	127,000	△ 57,000
研究部会資料刊行収入	25,919	100,514	△ 74,595
会誌資料収入	484,000	356,400	127,600
会誌等刊行収入	32,505	6,000	26,505
受取利息	4,270	255	4,015
雑収入	204,066	152,854	51,212
寄付金収入	0	0	0
経常収益計	4,667,260	4,638,023	29,237
(2) 経常費用			
① 事業費			
会誌刊行費	753,603	810,509	△ 56,906
委員会費	36,010	65,169	△ 29,159
大会経費	692,249	390,220	302,029
学術集会経費	112,040	159,870	△ 47,830
研究部会経費	103,800	36,990	66,810
学会賞・研究奨励賞賞金	60,000	50,000	10,000
会議費	14,230	20,950	△ 6,720
研究部会資料刊行準備預金	19,439	25,128	△ 5,689
日本昆虫科学連合会費等	20,000	20,000	0
事業費計	1,811,371	1,578,836	232,535
② 管理費			
事務委託費	2,484,000	2,484,000	0
雑印刷費	15,400	51,260	△ 35,860
事務用品費	0	0	0
通信費	58,815	58,815	0
旅費交通費	0	0	0
手数料	12,971	14,020	△ 1,049
荷造運賃費	79,224	113,924	△ 34,700
顧問料	0	165,000	△ 165,000
管理費計	2,650,410	2,887,019	△ 236,609
経常費用計	4,461,781	4,465,855	△ 4,074
当期経常増減額	205,479	172,168	33,311
2 経常外増益の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	205,479	172,168	33,311
一般正味財産期首残高	△ 982,882	△ 1,155,050	172,168
一般正味財産期末残高	△ 777,403	△ 982,882	205,479
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 777,403	△ 982,882	205,479

確 認 書

下記法人の 2025 年 12 月 31 日時点における貸借対照表及び 2025 年 1 月 1 日から
2025 年 12 月 31 日における収支決算書及び正味財産増減計算書内訳書につき、公益
法人会計基準に基づき適正に作成され、事実と相違ないことを確認しました。

記

法人名：一般社団法人日本環境動物昆虫学会

本店所在地：大阪市西区西本町一丁目 11 番 1 本町セントラルハイツ 407

法人設立年月日：令和 2 年 12 月 10 日

以 上

2026 年 1 月 7 日

大阪市中央区博労町 4-3-12

ミドーエルフアンビル 3 階

松本会計事務所

税理士 松本 龍造



監査報告書

2026 年 1 月 20 日

一般社団法人日本環境動物昆虫学会
会長 板倉修司 殿

監事 中嶋 裕子

監事 江田 慧子

私たち監事は、2025 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までの令和 7 年における一般社団法人日本環境動物昆虫学会の業務及び財産状況について、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 99 条及び定款 27 条に基づき監査を行いました。

1. 監査の方法およびその内容

私たち監事は、理事及び事務職員と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び事務職員からその職務の執行について報告を受け、重要な決済書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該年度にかかる計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書について監査しました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

①事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

②理事の職務の執行に関する不正の行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

※本審議事項は、議案第 2 号「2025 年決算報告」を承認しても良いかを問うています。

議案第 3 号 その他

新理事候補承認について

野村美治理事退任に伴い、新理事候補として、下記の候補者の推薦があった。

新理事候補者 東 邦昭 氏（アース製薬(株)）

※本審議事項は、議案第 3 号「その他」を承認しても良いかを問うています。

報告事項 1 2026 年事業計画書

① 通常総会および年次大会	各 1 回
② 環境アセスメント動物調査手法講演会	1 回
③ 環動昆セミナー	1 回
④ 評議員会	1 回
⑤ 理事会	2 回
（＊上記以外にも、必要に応じ、電子メール会議を開催）	
⑥ 編集委員会	4 回
⑦ 企画委員会	2 回
⑧ 研究部会運営委員会	2 回
⑨ 年次大会実行委員会	複数回
⑩ 学会誌発行回数（VOL37－1.2 合冊、VOL37－3.4 合冊）	2 回
⑪ その他の活動	適宜

報告事項 2 2026 年収支予算書

2026 年 収支予算書

(自 2026年 1 月 1 日 ～至 2026年 12 月 31 日)

収入の部

1…大科目 ()…中科目 ○…小科目

(単位：円)

勘 定 科 目	2026年 予算額	2025年 予算額	比較増△減	備 考
1. 会費収入	<u>3,085,000</u>	<u>3,085,000</u>	<u>0</u>	
(1) 正会員会費収入 (@8000×215 人)	1,720,000	1,720,000	0	
(2) 学生会員会費収入 (@3000×35 人)	105,000	105,000	0	
(3) 維持会員会費収入 (@50000×18 口)	900,000	900,000	0	
(4) 賛助会員会費収入 (@30000×12 口)	360,000	360,000	0	
2. 特別会費等収入	<u>790,000</u>	<u>740,000</u>	<u>50,000</u>	
(1) 大会会費収入	700,000	650,000	50,000	
(2) 学術集會会費収入 (セミナー)	90,000	90,000	0	
(3) 学術集會補助金収入	0	0	0	
3. 研究部会会費収入 (アセス)	<u>185,000</u>	<u>225,000</u>	<u>△ 40,000</u>	
(1) 研究集會会費収入	135,000	135,000	0	
(2) 研究部会資料刊行収入	50,000	90,000	△ 40,000	
4. 会誌資料掲載収入 (会誌広告)	<u>484,000</u>	<u>200,000</u>	<u>284,000</u>	
5. 会誌等刊行収入	<u>20,000</u>	<u>50,000</u>	<u>△ 30,000</u>	
(1) 会誌刊行収入 (会誌別売)	10,000	20,000	△ 10,000	
(2) 別刷収入	10,000	30,000	△ 20,000	
6. 雑収入	<u>100,100</u>	<u>100,100</u>	<u>0</u>	
(1) 雑収入 (送料等)	100,000	100,000	0	
(2) 受取利息	100	100	0	
7. 寄付金収入	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	
8. 特定預金収入				
(1) 研究部会資料刊行準備引当金取崩収入	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	
当 期 収 入 合 計	4,664,100	4,400,100	264,000	
前期繰越収支差額	△ 777,403	△ 1,155,050	377,647	
合 計	3,886,697	3,245,050	641,647	

支出の部

勘 定 科 目	2026年 予算額	2025年 予算額	比較増△減	備 考
1. 事業費	<u>1,270,000</u>	<u>1,370,000</u>	<u>△ 100,000</u>	
(1)会誌刊行費	700,000	700,000	0	
(2)委員会費	30,000	30,000	0	
(3)大会経費	300,000	400,000	△ 100,000	
(4)学術集会経費 (セミナー)	100,000	100,000	0	
(5)研究部会経費 (アセス)	100,000	100,000	0	
(6)学会賞・研究奨励賞賞金	40,000	40,000	0	
2. 管理費	<u>2,924,000</u>	<u>2,924,000</u>	<u>0</u>	
(1)会議費	10,000	10,000	0	
(2)事務委託費	2,484,000	2,484,000	0	
(3)雑印刷費	60,000	60,000	0	
①別刷印刷費	<u>20,000</u>	<u>20,000</u>	<u>0</u>	
②封筒等印刷費	<u>40,000</u>	<u>40,000</u>	<u>0</u>	
(4)事務用品費	10,000	10,000	0	
(5)通信費 (HP管理費含む)	50,000	50,000	0	
(6)旅費交通費	0	0	0	
(7)手数料 (郵便払込料,銀行振込料等)	10,000	10,000	0	
(8)荷造運賃費 (送料,原稿受取着払料等)	100,000	100,000	0	
(9)顧問料 (租税公課含む)	200,000	200,000	0	
3. 特定預金支出	<u>20,000</u>	<u>20,000</u>	<u>0</u>	
(1)研究部会資料刊行準備預金	20,000	20,000	0	
(2)資料刊行費 (調べ方シリーズ)	0	0	0	
4. 日本昆虫科学連合会費等	<u>20,000</u>	<u>20,000</u>	<u>0</u>	
5. 予備費	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	
当 期 支 出 合 計	4,234,000	4,334,000	△ 100,000	
次年繰越収支差額	△ 347,303	△ 1,088,950	741,647	
合 計	3,886,697	3,245,050	641,647	

報告事項 3 その他の報告事項

一般社団法人日本環境動物昆虫学会細則改定

第2章 委員会 (年次大会実行委員会)

改定前

第7条 年次大会実行委員会は理事会で互選された年次大会担当理事（年次大会委員長）と、理事会で推薦された年次大会実行委員で構成される。

改定後

第7条 年次大会実行委員会は理事会で推薦された年次大会委員長と年次大会実行委員で構成される。